

図書館だより

No.79

お知らせとデイジー図書のご案内

番号	書名	著者	分野
1	その悩み、エピクテトスなら、こう言うね。	山本 貴光、吉川 浩満	哲学
	尽きない悩みも、古代の賢人に学べば、みるみる氷解! エピクテトスの「自分の権内と権外を適切に見極めよ」という考え方に注目し、対話形式で悩みに答える。		
2	読むだけで人間力が高まる100話	「ニューモラル」 仕事と生き方研究 会	思想
	ものごとは受けとめ方次第でプラスにもマイナスにもすることができる。仕事や生き方、人生を歩むうえでの指針となる話を精選し、100話にまとめて紹介。		
3	80代、人生これから	今野 由梨	人生訓
	「メモは心のアンチエイジング」「誰かの評価」より「自分の納得」…。85歳「現役社長」の若さと輝きの秘密に迫る、31の名言を収録。		
4	歎異抄をひらく	高森 顕徹	仏教
	人間のあらゆる営みを否定する、常識破りの発言が繰り返される「歎異抄」。明快な現代語訳と解説、原文を掲載し、その魅力と謎をときひらく。		

番号	書名	著者	分野
5	武士の時代はどのようにして終わったのか	池田 勇太	歴史
	明治維新で武士の時代に幕が下ろされた。なぜ大名は領主をやめたのか、なぜ士族の特権は奪われたのかなどを、具体例として長野県飯田市の経験を取り上げながら解説。		
6	明治維新の残響	信濃毎日新聞社編集局	歴史
	明治維新という近代化の波は、地方の文化に何をもたらしたのか。信州の地を足場に、地方紙の記者の目で「明治維新の残響」を探る。『信濃毎日新聞』連載を単行本化。		
7	自分がおじいさんになるということ	勢古 浩爾	老後
	だれに気兼ねをすることもない。もう自由に生きていいのである。お金も健康も心もとないながらも、思いのほか楽しい「老いのリアルな日々」をつぶさに綴る。		
8	民衆の自己教育としての「自由大学」	長島 伸一	郷土
	1921年11月、真理と自由をもとめ、社会改革への参画を要求した青年たちによって、自由大学は始まった。民衆の権利「普通選挙」実施に向かう時代の学びをたどる。		
9	鉄道で伸ばす子どもの地頭力	鉄道博士	教育
	幼児期からの鉄道趣味こそが、学習において重要な役割を果たしてきた一。YouTuberである著者が、鉄道好きな子どものための、好きを活かした学習法を紹介する。		

番号	書名	著者	分野
10	聞き書き 飯田町の暮らし 1・2	飯田市歴史研究所 近現代史ゼミナール	郷土
	2005年の「近現代地域社会史入門」の成果をまとめたもの。大正から昭和初期に飯田町で幼少期を過ごした4名が、生業（せいぎょう）、職人や商人としての生活について具体的に語る。		
11	世界を変えた10人の女性科学者	キャサリン・ホイットロック	科学
	レイチェル・カーソン、マリー・キュリー…。あくなき知識欲や粘り強さ、信念を曲げない気性、洞察力などを持った10人の女性科学者を取り上げ、その栄光と苦悩を伝える。		
12	心をラクにすると目の不調が消えていく	若倉 雅登	健康
	まばたきが増える、目が痛い、急激な視力低下…。原因不明の目の不具合には、心の異変が潜んでいる。心療眼科・神経眼科の第一人者が、不調の原因を根本から解きほぐす。		
13	はじめてのエシカル	末吉 里花	環境
	エシカルとは、目の前にあるものから作り手を想像し、遠くの人や環境に配慮する社会になっていくこと。エシカルな暮らしのためにできることや、考え方のヒントを教えます。		
14	小さな家の思想	長尾 重武	建築
	「世の無常」を描いた古典であり、終の棲家・方丈庵を作るまでの物語でもある「方丈記」を読み解き、本当に必要なものだけで形づくる「小さな家」の可能性を探る。		

番号	書名	著者	分野
15	ふぞろいなキューリと地上の卵	駒井 一慶	農業
	これがみんな喜ぶSDGsな農業だ！北海道豊浦町で始まった、安全・安心でウマイ野菜と有精卵の農家による共同宅配サービス。涙と笑いのノンフィクション。		
16	佐野洋子	オフィス・ジロチョー	美術
	世代を超えて愛され続けている佐野洋子。絵本の絵や銅版画などの絵画作品、エッセイに書かれた生き生きした言葉とともに、多くの友人たちの証言を紹介する。		
17	音楽の黙示録	森本 恭正	音楽
	「NO」から始まる音楽論。権威を切り裂く多能な作曲家と、言葉のインプロヴィゼーションで読む者を覚醒させる異才ピアニストが、音楽界の常識を問いなおす。		
18	心のふるさとわが母校	小木曾 豊	郷土
	長野県飯田下伊那小中学校64校の沿革・校章・校歌について紹介。校歌制定の願い、複数校の作詞に携わった3人の作詞者について、歌われなくなった校歌も掲載。		
19	すたすたぐるぐる 信州編	OWL magazine	スポーツ
	長野パルセイロと松本山雅が争う「信州ダービー」が有名な、信州・長野県へのサッカー旅を綴る。「旅」というアングルから信州ダービーの背景を読み解く。		
20	山を楽しむ	田部井 淳子	登山
	心を豊かにしてくれる瞬間を求めて山に登る人は多いのではないか。四季折々の山行、山のごちそう、山の環境保護の実践などを語るエッセイ集。		

番号	書名	著者	分野
21	自家製 文章読本	井上 ひさし	言葉
	「話すように書け」ば、簡潔ならば、いい文章なのか。文学史にのこる名作から現代の広告文までを縦横無尽に駆使して、従来の文章読本の常識を覆す井上ひさし式文章作法。		
22	つぎに読むの、どれにしよ?	越高 綾乃	読書
	松本市で創業40年を迎えた児童書専門店「ちいさいおうち」。一人娘である著者が、子どもの頃から大人になるまで読み続けてきた海外の児童文学作品について愛深く語る。		
23	うろん紀行	わかしょ文庫	旅行記
	太宰治『富嶽百景』の河口湖、ポール・オースター『ムーン・パレス』のニューヨーク…。著者がさまざまな小説を手に、その景色を訪ね、感じたことを綴る。		
24	厨に暮らす	宇多 喜代子	俳句
	家は台所と食卓で、町は節句と祭で繋がっていた。つましくも笑顔がいっぱいだった。昭和の台所仕事や食卓に纏わる俳句と季語の逸話や懐かしい昭和の家庭のレシピが満載。		
25	NHK全国俳句大会入選作品集 第23回	NHK全国俳句大会 事務局	俳句
	全国から題詠「行く（ゆく）」と自由題を合わせ36,730句の作品が寄せられた。幅広い世代から多彩なテーマの作品が寄せられた。		

番号	書名	著者	分野
26	長田弘詩集	長田 弘	詩
	世界ときみとわたしと言葉の本質を、生と死を、深く鮮やかに斬り結ぶ、著者自選の珠玉の79篇を収録した、幸福で危険な文庫オリジナル版、遂に登場。		
27	幾千年の声を聞く	青羽 悠	小説
	世界の中心に聳える巨大な「木」。人々は枝の上に家を建て、国や文明が生まれた。だが、他国から訪れた学者は、それが本来地球には存在しえないものと気がつき…。		
28	風の神送れよ	熊谷 千世子	郷土
	疫病退散の願いをこめて、ぼくらは「コトの神」を谷へ送る。さまざまな困難に立ち向かい、懸命に責任を果たそうとする子どもたちの姿を鮮やかに描く。		
29	きつねの橋 [巻の1]	久保田 香里	小説
	少年時代の藤原道長の護衛をしたり、盗賊・袴垂討伐に加わったり、不遇な齋院の姫を助けたり…。平安時代、京の都。源頼光の郎党・平貞道が、妖怪きつねの葉月と活躍。		
30	グローバライズ	木下 古栗	小説
	端正な日本語、文学的技巧を尽くし、もはや崇高な程の下ネタや不条理、圧倒的無意味を描く孤高の天才、初の短篇集。全12編を収録。		
31	とむらい師たち	野坂 昭如	小説
	戦後の大阪を舞台に、とむらい師たちの愚行と奮闘、笑いと悲しみを通じて「生」の根源を描く表題作をはじめ、初期代表作全6編を収録。		

番号	書名	著者	分野
32	やまなみの詩	中野 和朗	小説
	信州から満州、明治から今日までを舞台に、戦争と激動の時を越え、愛と不屈の精神が織りなす人間讃歌を綴った小説。作中の詩「武器よさらば！」の楽譜も収録。		
33	アートに恋して	広瀬 その	郷土
	お気に入りの曲を口ずさみながら、ときには、黄色いミモザサラダをつくる。まいにちを心地よく暮らすためのヒントが詰まったエッセイ集。		
34	愛猫記異聞	片桐 晴夫	エッセイ
	著者9冊目の自費出版本。2019年から2021年までの随筆と、初の短編小説を収録。「この土地に暮らすことが何よりの喜び」という文章から、伊那谷の魅力も感じ取れる。		
35	あざらしのひと	浅生 鴨	エッセイ
	日常生活の中で見かける、ちょっとおかしい行動をとる人たちを、独自の視点でゆるく優しくとりあげた軽妙コラム集。		
36	<老い>という贈り物	井口 昭久	エッセイ
	「これが老人だ!」という典型がなくなった現代ニッポン。コロナ、老人差別、終活、老化など、ドクター井口が日々の診療の中で考えたことを綴ったエッセイ集。		
37	大嵐の仙人	井上 秀範	郷土
	飯田線の温田駅近くで生まれ育った著者が家族との思い出を綴る。父は下伊那で唯一の「川漁師」。広大な佐久間ダム、自然の恵みを得るための工夫と面白さが伝わる。		

番号	書名	著者	分野
38	くらしの中から 第37集	文章講座同窓会編集委員会	郷土
	毎年発行している飯田市立図書館の文章講座同窓会の作品集。日々の暮らしや住んでいる地域の様子が綴られます。		
39	鴻上尚史のごあいさつ1981-2019	鴻上 尚史	エッセイ
	劇団「第三舞台」旗揚げ時から現在に至るまで、新作公演の度に観客席へ配られる手書き文章「ごあいさつ」。珠玉のメッセージ全公演分に、「解説」パートを加筆し収録。		
40	ごきげんな散歩道	森沢 明夫	エッセイ
	不人気な神社が好きなわけ、人生をバラ色にする方法…。小説家・森沢明夫が、日々の散歩で出会った「ちいさな幸せ」を綴る。		
41	人生★出会いと別れ	佐々木 正美	エッセイ
	著者は多くの育児書を執筆する精神科医。ご家族や恩師、患者さんとの様々な出会いと別れが描かれ、読者の心を優しく包み込む。		
42	沈黙する知性	内田 樹	エッセイ
	知識人はなぜ沈黙するか。グローバリズムに「終わり」はあるか。内田樹と平川克美が、政治から文学、日常生活に至るまでを語り合う。		
43	ていねいに生きて行くんだ	前山 光則	エッセイ
	いつもそばに本があった。加計呂麻、水俣、東京、福島…。石牟礼道子、島尾敏雄との交流も含めて過去から現在まで、小さな旅の記憶をたどった70のエッセイ集。		

番号	書名	著者	分野
44	とりあえず、本音を申せば	小林 信彦	エッセイ
	コロナウイルスは怖いですが、家の中にも楽しみはある。好みの映画をDVDで観ていれば、一日はすぐ過ぎてしまう。『週刊文春』連載コラムを書籍化。		
45	バブル、盆に返らず	甘糟 りり子	エッセイ
	毎日がパーティみたいで、あちこちにチャンスが転がっていた。1990年、すべてのディスコに顔パスで入っていた“バブルの申し子”が、熱狂の時代を愛と自戒をこめて描く。		
46	ベランダ園芸で考えたこと	山崎 ナオコーラ	エッセイ
	愛情の暴走、コンパニオンプランツ、芽が出る喜び、残酷な間引き…。震災を経て、結婚をして、ベランダに引きこもった著者が、生と死を見つめた日々をイラストと共に綴る。		
47	「無言館」の庭から 続	窪島 誠一郎	エッセイ
	80歳近い老人が、あと何年この館を運営できるかわからないけれど…。「無言館」という小舟に乗って荒波にもてあそばれる日々を綴ったアンソロジー。		
48	留守電のもんだい	岸本 葉子	エッセイ
	外野はうるさい、結婚をあせる、でも自分の時間を大事に生きたい。留守番電話の広まったこの五年間を通じて著者が綴る、シングルライフ応援エッセイ。		
49	朝の少女	マイケル・ドリス	海外文学
	姉弟は両親と島で暮らす。姉は早起きで朝の少女と名付けられる。腹ぺこと呼ばれていた弟は夜に生き、星の子と名付けられた。大自然と共にある家族の悲運の道。		

番号	書名	著者	分野
50	潔白の法則 上・下	マイクル・コナリー	海外文学
	殺人容疑で逮捕された刑事弁護士ハラー。被害者の射殺体はハラーの車のトランクにあり、銃弾が彼の自宅ガレージで見つかったのだ。自分自身を弁護する本人訴訟に臨む。		
51	ダーク・アワーズ 上・下	マイクル・コナリー	海外文学
	刑事バラードが2人組のレイプ犯を追っていたその時、銃による殺人事件が発生。10年前の未解決事件で使われた銃ということが判明する。その担当は現役時代のボッシュだった。		
52	どこまでも食いついて	ジャナ・デリオン	海外文学
	カーターとの初デートを成功させたフォーチュンのもとに、宿敵シーリアが町長に立候補したとの報が入る。当選阻止に動こうとした矢先、カーターが何者かに狙撃され…。		
53	評決の代償	グレアム・ムーア	海外文学
	10年前に起きた誘拐殺人事件。当時の陪審員たちが、ドキュメンタリー収録のため、裁判中に宿泊していたホテルに集められるが、収録前夜、男が死体で発見され…。		
54	ポリス・アット・ザ・ステーション	エイドリアン・マッキンティ	海外文学
	麻薬密売人の男が射殺された。自警団の犯行として捜査が行われるが、ション・ダフィ警部補は、事件がそう単純なものではないことを直感する。		

番号	書名	著者	分野
55	海からの贈りもの	アン・モロウ・リ ンドバーグ	エッセイ
	与えるのが女の役割であるというのなら、その泉が涸れてしまわないう、女もまた満たされなければならない。50年代に書かれた著者の暮らしの姿勢と哲学を新訳でお届け。		
56	印（サイン）	アーナルデュル・ インドリダソン	海外文学
	サマーハウスで自殺した女性。夫によると2年前から精神的に不安定で、死後の世界に興味を持っていたという。本当に自殺なのか？ エーレンデュルシリーズ第6弾。		
57	悪意	ヨルン・リーエ ル・ホルスト	海外文学
	殺人等の罪で服役中の男が第3の殺人を告白。死体を遺棄した場所を供述する見返りに、人道的な刑務所へ身柄を移送しろという。刑事ヴィスティングシリーズ。		
58	鍵穴	ヨルン・リーエ ル・ホルスト	海外文学
	大物政治家クラウセンが心臓発作で急逝。その別荘には巨額の外国紙幣が。汚職か？ 切れ者の鑑識員をチームに加え極秘で捜査を始める。刑事ヴィスティングシリーズ。		

番号	書名	著者	分野
59	忘れたとは言わせない	トーヴェ・アルス テルダール	海外文学
	少女殺害の容疑で故郷を追われた男。家庭に難題を抱える女性警察官補。男が帰郷すると、父が死体で発見された。事件の捜査に当たる女の前に、過去の事件が浮かび上がり…。		
60	裏町文庫界限	井原 修	郷土
	著者は飯田市役所近く、知久町の古書店「裏町文庫」の店主。地元新聞に発表した文章を中心に創作小品も数篇収録。		
61	生き物の死にざま	稲垣 栄洋	生物科学
	生きものたちは、晩年をどう生き、どのようにこの世を去るのか。狩りも子育ても一身に背負う母親チーターの苦難など、限られた命を懸命に生きる姿を描く全27話を収録。		
62	批評家失格	小林 秀雄	エッセイ
	近代批評の確立者・小林秀雄の22歳から30歳までの、文庫初収録随想と入手困難だった批評を収めた文芸論集。人間的な素顔の窺える瑞々しい52の論考を掲載する。		
63	追いかけた77の記憶	清水 まなぶ	郷土
	シンガーソングライターの著者による戦争体験聞き取りの旅の記録。2015年から1年半、長野県内全77市町村を巡り、約90人から聞いた戦時中や戦後の体験談をまとめる。		

番号	書名	著者	分野
64	ぼくの、マシン	大森 望	エッセイ
	40年以上にわたる神林長平のライフワーク「戦闘妖精・雪風」。その第1作「戦闘妖精・雪風<改>」を、書き下ろし短篇などとともに収録。		
65	リンゴの木の上のおばあさん	ミラ＝ローベ	児童文学
	友だちにおばあさんがいるのがうらやましいアンディは、いつもりんごの木に登って遊んでいた。ある日、りんごの木に写真で見たことのあるおばあさんがいた。		
66	まぼろしの軍師	新田 次郎	小説
	武田信玄に戦術を具申し、川中島に忽然と消えたという軍師・山本勘助。その遺児とされる僧が、父の生きた痕跡を探る。歴史短篇全8篇などを収録した傑作集。		
67	読書についての文集 第59号	飯伊婦人文庫	郷土
	特集 どう生きたか・「コロナの中で」 コロナ禍で従来のように発刊できなくなった文集。感染拡大当初感じた事や生活の様子を綴る。		
68	書こうとしない「かく」教室	いしい しんじ	文学
	書こうとしない作家・いしいしんじの名作は、どのように“かかれた”のだろうか？ 移り住む土地、数奇なる半生、創作…3つの関係を振り返り、その謎に迫る講義録。		
69	象の眼	奥村 晃作	歌集
	「とつぜん天から落ち来て路面打つ氷の粒を軒下に見つ」 「山深き信州飯田の塩イカの懐かしの味今に忘れず」2019年7月～2022年3月の作品から598首を収めた第18歌集。		

番号	書名	著者	分野
70	赤石岳、謎の遭難	出利葉 義次	小説
	赤石岳の行方不明遭難は果たして道迷いなのか。南アルプスを貫くりニア中央新幹線建設計画を巡る疑惑に、登山愛好家の地元紙新聞記者が執念で迫る山岳ミステリー小説。		
71	山とけものと猟師の話	高橋 秀樹	狩猟
	山や人里を荒らす迷惑な鹿や猪が激増。壊れゆく山の自然を肌を感じながら、何十年もけもの道を歩いてきた静岡の老練猟師たちを訪ね、話を聞く。レシピも掲載。		
72	愛をみつけたうさぎ	ケイト・ディカミロ	児童文学
	持ち主の女の子に愛されていても、自分は誰も愛していない陶器のうさぎエドワード。女の子とはぐれ、エドワードの果てしない心の旅が始まる…。感動の物語。		
73	フライ,ダディ,フライ	金城 一紀	小説
	主人公は平凡なサラリーマン。妻と娘を大切にし、築いてきた日常が崩壊。失意の中で、彼は奇妙な高校生グループと出会い…。大切なものを取り戻すためのひと夏の冒険譚。		
74	妙ちゃんが行く！	清川 妙	エッセイ
	本、ひとり旅、おいしい時間。これらは人生の味を濃く深くします。清川流、幸せ探しのヒントや、日々を彩る人生の極意を語る。		
75	ガラス山の魔女たち	エステス	児童文学
	魔女の中で一番えらい魔女はあさんがガラス山へ追放された。それは普通の女の子のエミリーが、そう言ったから。万聖節の夜、魔女たちが下界に降りてきた。		

番号	書名	著者	分野
76	菜の花遍路	小森 亥三夫	郷土
	山歩き、バードウォッチング、古文書の解読、四国八十八カ所の歩き遍路…。退職後の趣味を楽しむ日々を題材とした作品集。		
77	浅間山信仰の歴史	岡村 知彦	信仰
	なぜ佐久の地に、石仏虚空蔵菩薩が多く残されているのか。太古から火の山浅間の鎮護仏としてあった鬼伏せの虚空蔵菩薩。幻の浅間山信仰である虚空蔵信仰の謎を探る。		
78	南の子供たち	S.J.ローザン	海外文学
	私立探偵のリディアは、父殺しの容疑で逮捕された青年の無実を証明するよう母に命じられる。頼れる相棒ビルとミシシッピを訪れると、件の青年は拘置所から脱走していて…。		
79	アンデルセンどうわ	ハンス・クリス チャン・アンデル セン	児童文学
	「おやゆびひめ」「マッチうりの少女」「みにくいアヒルの子」など、今なお世界中で愛され続けている名作をお届けします。		
80	タマムシは環境が悪いと長生きする	芦澤 七郎	昆虫
	装飾品や占いなどに使用され古来から人間にとって身近な存在であったタマムシ。飼育は不可能とされてきたタマムシの魅力と謎を徹底解明し、その生態について詳しく解説。		

番号	書名	著者	分野
81	ハマータウンの野郎ども	ポール・ウィリス	教育
	イギリスの学校の生徒たちを調査・観察し記録。反抗的な少年たちの行動や、仕事に対する向き合い方などをさまざまな方向から分析する。		
82	じっぼ	たつみや 章	児童文学
	太郎は人間のことばをしゃべるカッパの子を拾い、「じっぼ」と名づけて飼い始める。学校に連れて行くと教頭先生に取り上げられ、解剖されることになってしまい…。		